

平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード 080300 TEL 2991-1813	
事業コード 080308	乳幼児発育・発達相談事業		担当部課 健康づくり支援課
開始年度 平成 14 年度 → 終了年度 平成 年度		グループ 健康づくり第1G	
②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	
	分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画	
	関連・類似事業	乳幼児健康診査事業、母子保健相談指導事業	
	根拠法令	母子保健法	
総合計画の体系	章 健康・福祉	節 保健・医療	基本方針 子育て家庭を支援します
事業開始の背景	核家族化、子育て環境の変化や近隣との関係の希薄などにより、家庭の育児機能が低下する中で、児童虐待や孤立した親が抱える育児不安やストレスが深刻化している。こうした状況の中で、より専門性の高い相談を充実させることにより、児童虐待の予防や育児不安の軽減を図り、子どもの心身の健やかな発育・発達を促進するために実施された。		
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)		
	児童虐待の予防・早期発見・早期対応として、専門性の高い相談を充実させることにより、育児不安の強い母親への支援を行い、育児不安の軽減及び家庭における育児機能の修復を図り、子どもの心身の安らかな発育・発達を促進するとともに、人間形成の基盤となる乳幼児期の母子関係を確立することを目的とする。		
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位
	①発育・発達相談、②MCG(母と子の関係を考える会)、③子育てメンタル相談の参加対象者(乳幼児)	平成 24 年度 平成 25 年度	432 519
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>1. 発育・発達相談・・・①小児科医師による医師相談(年24回)、②臨床心理士による心理相談(含 発達検査)年36回、③言語聴覚士によることばの相談(年36回)、④作業療法士による運動あそびの相談(年24回)</p> <p>2. MCG(母と子の関係を考える会)・・・母がゆっくと話ができるように、児の保育を行い、臨床心理士が中心となりグループミーティングを行う(年12回)</p> <p>3. 子育てメンタル相談・・・精神科医師(年6回)、臨床心理士(年6回)</p>		
④経費	＜会計種別＞	一般会計	
	当切予算	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)
	決 算 (見込み含む)	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)
	正規職員人件費	1.83 人	1.72 人
	事業費合計	18,905	18,906
	財源内訳	平成 26 年度 (千円)	
一般財源	18,905	18,906	
国・県支出金	0	0	
その他()	0	0	
※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
⑤実績	項目名	項目説明	単位
	活動実績	実施回数	回
	参加者数	各事業参加延べ人数	人
	対象人数	各事業の対象人数合計	人
⑥成果	項目名	項目説明	単位
	成果指標	参加率	%
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%
	目標値	100	実績
⑦改善点	平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)		
	相談件数の増加により、医師相談を年間12回から24回に、心理相談、ことばの相談をそれぞれ年間24回から36回に増やし、相談機会の充実を図った。		
⑧評価	評価	事業実施方法 (複数選択可)	理由
	方向性の	次年度予算	理由
	今年度の状況と今後の方向性	専門相談を受けた方への継続した支援については、関係機関との連携により、切れ目のない支援を実現するとともにニーズの把握に努めていく。	
評価日	H26.8.1	評価者職氏名	健康づくり支援課長 岸 健次
⑨環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	規制を受ける環境法令等
		文書の作成	緊急事態